

北海道知事  
高橋はるみ 様

2011年8月9日  
民主党道民連合  
原発からのシフトを目指すPT  
会長 星野高志

泊発電所3号機定期検査終了に向けた最終検査受検申請について

北海道電力は、本日国に対して標記の受検申請をおこないました。

この点に関し、議会でも様々な議論がおこなわれているところです。道幹部からは、「北電として、適切に対応していただけるものと理解している」「泊発電所3号機の最終検査については、電気事業法に基づき、国と事業者の関係で実施されるものだが、道では、7月14日に国に対し3号機の取り扱いについて照会したところであり、国からの回答を踏まえ、泊発電所3号機の最終検査に係る道の考え方をお示ししていきたい」との答弁がなされています。

国からの回答は、本日文書で道に届けられました。まさにこれから道としての考え方を整理する段階で、北電は一方的に申請をおこなったものであります。

原子力の推進には、安全の確保と住民の理解を得ながら進めるという、二つの大前提があります。今回の北電の行為は、後者の前提をまったく無視したものであり、到底認められるものではありません。

従って、知事におかれましては北電に対し、申請の撤回を求められるよう、強く申し入れます。

以上